

レジメンスケジュール

診療科	消化器外科
適応	胃癌
レジメン	胃RAM+PTX療法

申請・改訂日	2021年4月
備考	2nd line

クール関連
下記の通り

使用した臨床データ
がん化学療法レジメンハンドブック

全クール																				
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	...	day8	...	day15	day28		
①		デキサメタゾン注	9.9mg	メイン	15分	PVCフリー、フィルター付きルート	○		○		○									
		ファモチジン注	20mg				○		○		○									
		クロルフェニラミン注	5mg				○		○		○									
		生理食塩液	100mL				○		○		○									
②	○	ラムシルマブ	8mg/kg	メイン	60分	total250mL	○				○							終了		
		生理食塩液	250mL																	
③		生理食塩液	100mL	メイン	60分	3回目以降30分	○				○									
④	○	パクリタキセル	80mg/m2	メイン	60分		○		○		○									
		5%ブドウ糖液	250mL																	
⑤		生理食塩液	50mL	メイン	全開		○		○		○									

投与量	パクリタキセル	ラムシルマブ
通常投与量	80mg/m2	8mg/kg
1段階減量	70mg/m2	6mg/kg
2段階減量	60mg/m2	5mg/kg

減量：中止基準

ラムシルマブ				
副作用		1回目	2回目	3回目
タンパク尿	2～3g/日	休薬し回復後6mg/kgで再開(2週間以上回復しない場合は中止)	休薬し回復後5mg/kgで再開(2週間以上回復しない場合は中止)	中止
	Grade3無症状で2週間以上継続			中止
	3g/日以上	中止	-	-
高血圧	Grade3以下で有症状	休薬し回復後6mg/kgで再開	休薬し回復後5mg/kgで再開	中止
	Grade3無症状で2週間以上継続	休薬し回復後6mg/kgで再開	休薬し回復後5mg/kgで再開	中止
	G4	中止	-	-
Infusion reaction	G1-2	投与速度を50%減速する		
	G3-4	直ちに投与中止	-	-
その他	G3-4	休薬し回復後同量再開	休薬し回復後6mg/kgで再開	休薬し回復後5～6mg/kgで再開
	G4(発熱・臨床検査値異常)	中止	-	-
	G4(上記以外)	必要に応じ減量	必要に応じ減量	必要に応じ減量
パクリタキセル				
副作用	程度	対処		
血液毒性	G4	次回より1段階減量10mg/m ² 減量、60mg/m ² 未満までの減量に至る場合投与中止		
非血液毒性(脱毛除く)	G3以上	次回より1段階減量10mg/m ² 減量、60mg/m ² 未満までの減量に至る場合投与中止		